

姫野クリニック 出雲・大田合同研修会

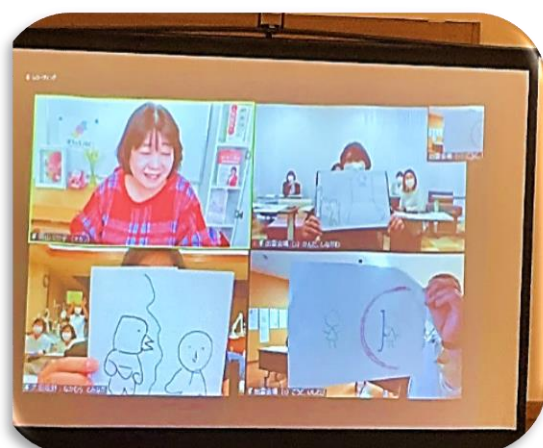
患者の暴言・暴力対応—2

—ロールプレイの実践—

講師 オフィス JOC 岡山ミサ子

2023.2.21(火)

昨年に引き続き、患者の暴言・暴力対応の研修会を出雲と大田の合同で開催しました。出雲 2 会場・大田 1 会場で ZOOM とリアル会場のハイブリットで、大田姫野クリニックは、スタッフ 10 名(看護師・臨床工学技士・助手)の参加でした。今回は、患者・医療者・観察者とそれぞれの役を実践しロールプレイングを体験しました。体験役の後に実践しての気持ちを振り返りシートに記入、それぞれの実践後の気持ちがリアルに書かれていました。アサーションとバウンダリーを学び、今後患者の暴言・暴力の対応・自分がこれからどう対応するかを考えました。





研修会に参加した感想

自分がこれからどう対応するか

- ・暴言・暴力の場面に遭遇したらその時の気持ちを伝えどのようにしてほしいかを伝える。
- ・必要なら距離をとり第三者に入ってもらおう。
- ・暴言を受けるような場面に会ったことがないが、普段から I メッセージを用いたコミュニケーションを取り入れ患者さんと関わって行きたい。そうすることでもしそういった場面にあった際上手く自分の気持ちが出てくるのかなと思った。
- ・バウンダリーを大切に人権侵害をしない、させないように日頃より取り組んでいきたい。
- ・チームで対応できるようスタッフで話し合う機会ができればいいと思う。
- ・患者対自分ではなく医療スタッフ全員が関わる。
- ・I メッセージを伝える練習が日頃からできればよい。
- ・自分がどう反応するのか自分を知り、I メッセージ、時間を変え、人を変え、みんなで対応していく。
- ・患者・医療者・観察者とそれぞれの役を实践しロールプレイングを体験したことで、いろいろな感情に気づけたことが学びとなったと思います。

以上